

1. 2017年3月期第2四半期決算報告

2. 現行中期経営計画について

3. 構造改革プラン

4. 2017年3月期の見通し

- 次の100年に向けて成長する企業に生まれ変わるべく、「6事業のポートフォリオで成長する企業体へ」を掲げた
- 具体的には、既存事業の強化と成長事業の育成を方針とした
 - 既存事業では、半導体装置事業の黒字化、FPD装置事業と映像事業の安定収益確保
 - 成長事業では、マイクロスコープ・ソリューション事業、産業機器事業、メディカル事業の育成
- これらの施策により、2018年3月期に売上高9,900億円／営業利益650億円を達成することを目標とした
- 現行の中期経営計画（2015年5月発表）は3年間固定とした

現状

- 事業ポートフォリオの変革は出来ていない
 - 半導体装置事業は黒字化の目処が立たず
 - 映像事業は想定以上に市場縮小が進行し、計画達成は困難
 - 成長事業は伸びてはいるものの、期待通りの進捗ではない
- 最終年度となる2018年3月期の全社経営数値目標の未達は確実
- Transformのためのプログラム、諸施策の進捗も思わしくない

問題点

- 目標設定の考え方そのものを改める必要がある
 - 市場動向を見誤り、売上成長やシェア向上を目指した
 - 掲げた戦略・施策が、市場縮小や競争激化等の当社を取り巻く事業環境に対応できない
- 現行計画の継続は、収益構造の更なる悪化につながる



目標設定自体の妥当性にも問題があったことを反省し、
期間中ではあるが、現行中期経営計画の継続を断念する